

# 高品質、低コスト

# 通気窓から宇宙開発まで、金網のことなら 「金網の総合デパート」富士金網工業へ

富士金網工業

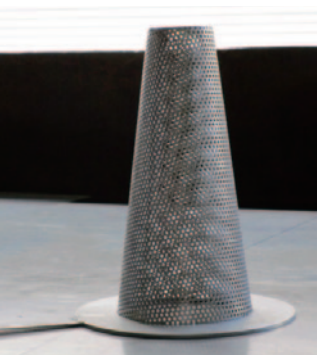
富士金網工業(品川区東大井、上杉高弘社長、03・5762・2401、<http://www.fujikanami.com>)は、金網を主に金属二次製品の製造、加工、販売を行っている。法人成りは昭和25年末だが、個人創業は大正14年10月と業歴90年を有し、関東でも屈指の在庫保有量を誇る金網の総合デパートである。

一言で金網といっても、「ふるい」程度しか思い浮かばないかもしれないが、その用途は多岐にわたる。家庭や街中でも、工場・船舶の床張り、階段の踏板、側溝の蓋、フェンス・防護柵など一般に広く目にするものから、通気・通音を目的とした飾り保護金網としてテレビ、ラジオ、ステレオやエアコン、電気こたつ、各種乗物の通気窓などまで幅広く使われている。宇宙開発分野でも採用されていることから、同社製品の品質の高さが窺える。

金網は、織り方(編み方)ひとつをとっても平織、綾織、畳織、綾むしろ織、菱形、クリンプ、溶接、亀甲など多様で、材質、網目の形・大きさとの組み合わせにより、数えきれない種類の製品が存在する。近年では、特殊な織り方の金網により流体中に含まれる異質微粒子を分離除去するワイヤーネットデミスターという製品も、各種プラント並びに公害防止用として、同社でも需要が高まっている。また、ベルトコンベヤーで使われるワイヤーネットコンベヤーベルトも得

意で、柔軟性、通気・通水性、衛生性、耐蝕性、耐熱性などお客様の要望に合わせた製品の提案、製作でも高評価をいただいている。

ビジネスフェアへの出展や学生のインターンシップなど、マッチングや地域貢献の機会も大切にしている。金網単体に限らず、それらを使った金属加工製品のことなら、ぜひ同社にご相談ください。



金網を使った多種多様な加工製品を手がける